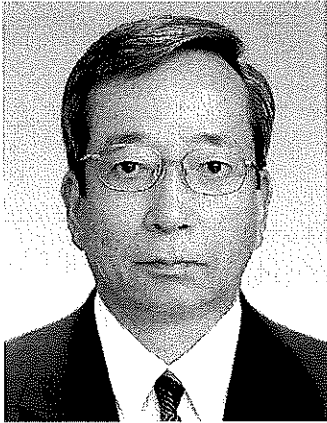


のっぽの手

〒960-8034 福島市置賜町1-29 佐平ビル
 TEL 024(528)1211 FAX 024(528)1218
 E-mail center@f-npo.jp
 URL <http://www.f-npo.jp/>

新理事紹介



ふくしまNPO
ネットワークセンター
理事
田口 三郎

2007年度通常総会で理事に選任された田口です。

今年常務理事の湯田様より「ふくしまNPOネットワークセンター」へのお誘いをいただき入会をし、今回理事という大役を仰せつかり戸惑っている次第ですが、よろしくお願ひいたします。

私は昭和40年代コンピュータが世の中に出始めた頃よりコンピュータの世界に入り、昭和52年までは東京のソフトウェアハウスで主に金融機関のオンラインシステムの開発に従事してきました。その後福島に居をかまえ、ユーザの立場でオンラインシステムの開発をしてきました。

昨年10月に前職を定年で退職し、現在は「NPO法人ITCふくしま」でITコーディネータ（経営者とシステム構築をするソフトウェアハウス様と経営者の立場で橋渡しをする人材）として中小企業のIT化の支援活動と各種研修会・セミナーの講師等をやっています。本年「福島IT経営研究所」を開設し活動に入っています。

中小企業特に小企業においてはディーラさんもなかなか対応が出来ず、IT化の相談先が少ない状況となっています。そこで、中小企業の経営課題を真に解決するためのIT化はどうあるべきかを中心に対応しています。

もうひとつの活動として「NPO法人日本システム監査人協会東北支部」において公認システム監査人として企業・団体のシステム監査を手がけています。最近では内部統制の中のIT統制についていろいろ話が活発化しています。

このような経歴ではたして理事が勤まるか不安ですが、昨今あらゆる組織（会社、団体等）ではITを経営にいかにか有効に活用するかについて避けられない課題となっていますので、このような観点でなんらかのお役に立てればと思っていますので、皆様のご指導をよろしくお願ひいたします。

新スタッフ紹介



8月中旬より福島市市民活動サポートセンターで勤務させていただいております、松本剛史です。私も市民活動を行なう1人として勉強を兼ねて、そして少しでも皆様のお力になればと考え、日々働かせていただいております。

ここで働かせていただいて、この福島市の中にも実に多くの方々活動されていることを知りました。この町を良くしたい！この町の人のために！そんな熱い想いを持った方々に出会えることが私の力にもなり、私の楽しみでもあります。

活動費用や人員の面など多くの悩みもある市民活動ですが、そんな1人ひとりの地道な力こそが町を支えて、良くしているのだと私は思っております。少しでもそんな皆様の力となれるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。
 （ 松本 剛史 ）

特別研修会 会計講座「NPO会計を学ぶ」

(8月30日 福島学院大駅前キャンパスNPO実習室)

去る8月30日、福島学院大学のNPO実習室で元早川顧問(現在は福島市議会議員)を講師にお願いをしまして、NPO会計についての理事研修会を行いました。

県内のNPOの中には、県に提出する会計報告書等の作成で結構苦労している所もあるようで、センターにも相談が持ち込まれているように聞いています。

昨年の県の委託事業の“NPO会計講座”の講師もお願いしていただきました早川さんを講師にしまして、10時からお昼を挟んで、3時過ぎまでの長時間にわたり、総勢9人(部外者を含む)がNPOの会計について教えて頂きました。

もともと、我々の知る会計は単式簿記といひまして出納帳(こずかい帳)の範囲のものですから、複式簿記の会計はなかなか理解しがたいものです。借方(左側)、貸方(右側)とかの簿記特有の呼び方がまず馴染めません。どうしても、漢字の表わす意味と一緒に考えてしまいます。そうしますと、借方に記入することが可笑しく思われるような事項が出てきて頭の中が混乱してしまいます。そのところをクリアすることがなかなか出来ないのです。

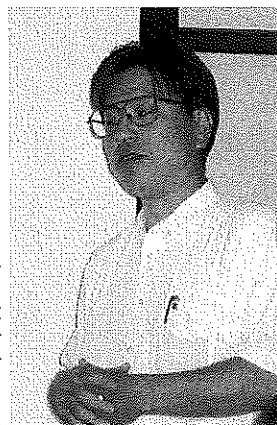
その他に、貸借対照表、損益計算書、勘定元帳、仕訳帳等々、一般的に聞きなれない言葉が次々と出てきまして頭を悩ました、という次第です。

また、各NPOは県に毎年、報告書を提出しますが、その中には会計収支報告、貸借対照表、財産目録の三種類の会計に関する報告書の提出が義務づけられています。実際にはパソコン会計で決まったフォーマットに入力すれば必要な形式に転換が出来るようになっているようですが、その出所なりは知っておく必要があります。参加されました皆さんはその一端には触れた事と思います。

複式簿記の歴史は長く約400年前にイタリアで始まり、その基本はほとんど変わらずに現在も使われているようで、驚きのほかはありません。

頭の中が混乱した一日でした。参加されました皆様、ご苦労様でした。

(記 斎藤 健)



「複眼的」協働論を披露



第45回NPO研究会は9月29日(土)午後4時30分より、松下啓一氏を講師にお招きし、ウィズもとまちにおいて開催しました。研究会では松下氏より、協働を妨げるものの一つに、市民には公のものは行政が行うという意識があり、その意識を変えていかなければいけないし、意識を変えるような仕組みが必要ではないかと問題提起がなされました。

その後参加者から、はたして市民の意識を変えることはできるのか、委託事業について、NPOと町内会の関係についてなど活発な意見が出され、それに松下氏が答えていくといった形で会は進められていきました。松下氏は公務員をなさっていた経験から、行政の立場での考え等も交えてお話しされ、NPOと行政の協働について、行政とNPO両方の立場からのお話しをお聞きすることができました。

(記 角田佐知子)

続々と要望が・・

パソコン講座（福島学院大駅前キャンパスNPO実習室）

今年度、最初のパソコン講座を開催いたしました。今回はまず「エクセル2003入門講座3日間」を2回、「パワーポイント2003入門講座3日間」を1回実施。それぞれ定員である4名のお申し込みを頂戴しました。

基本的にNPO、市民活動団体のスタッフ向けということで広報していますが、一般の企業にお勤めの方からの問い合わせ、参加もありました。大歓迎です。

ITは現代の「まち」「ひと」の生活の基幹を物理的に支えている技術ですから、そのサポートも重要な業務であると思います。

「パワーポイント2003入門講座3日間」では実習ということで、受講者の所属団体などのプレゼンテーションをしていただきました。限られた時間内でのスライド数に制限のあるものですが、みなさまなかなかの熱の入った様子。それぞれ特色のある内容で、またどんな活動をされているのかが一目瞭然。講座終了後は、情報交換をされているようでした。

前年度から通算すると7回開催しました。要望もたくさん頂戴しました。「ワードをやって欲しい」「エクセルの上級講座をやって欲しい」「はがき作成を覚えたい」といったものが多いようです。新講座の検討、実施をして行きたいと思います。

（記 渡辺卓也）

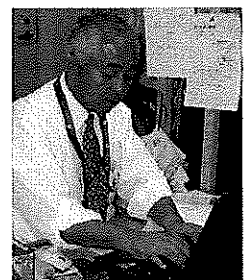


言霊への旅〜私の信金道〜

第四回

ふくしま情報ステーション所長

武藤 進



知ったかぶりの駆出し得意先お粗末の一席である。ちなみに

「ワガは、くまんでんなあ老けている」

を顔に窪みがある↓彫りが深い↓ハンサム…と勘違いも甚だしく誤解、にっこり笑って

「いやいや、それほどでも…」

ほくそ笑んで、怪しまれたこともある。

私とて福島市のはずれ、岡部の産であり、東京に近い埼玉県川越に四年間住んでいたとはいえ、訛りが無いわけではない。が、一山越えた伊達郡保原町の言葉と岡部在住、公務員と看護婦を両親に持つ二十一歳の青年の言葉には、当初、若干の差異があり、慣れるのに数年を要したことも事実である。

ある日の保原支店ロビー、顔見知りとお茶を飲みながらの世間話。

「ふーむ、なるほどない。娘さん、優秀でらんだ。ところで、どこに嫁がったんだい」

「イズンバラ、だあ」

「エジンバラ？ホンジャ、いきなり遠い、ない。スコットランドでは、ナガナガ遊びにも、行がんに、びした、ない」

一丁前に訛りを使っているようで、それは外国人が日本語をたどたとしく、しかも本人はうまいと思ってるから始末が悪い。

「スットゴ？うんにゃ、ほだ、遠いこともねえんだあ。オラエ（我家）はカナハランダ（金原田）だもの、すぐだん」

「んん：カナハランダ？カナアハアランダア？聞いたこと、ねーない、グラスゴのほうかな、それともハミルトンの近くだが…」

「なんだあ、カナハランダはカナハランダ。ガラス屋だの、豚舎？んね、ブダごやでなく、だがら、カナハランダの隣りさ、イズンバラ、あんだ、泉原知んにの、が

い。川沿いにまちがら、ツウーと霊山のほうさ下って来っと、イズンバラ」

「どれ地図見せて：ああーっ、いずみはら」

（続く）

福島市市民活動サポートセンターからのお知らせ

◆ふくサポホームページ開設◆

これまで、「ふくサポ」からの情報発信は隔月発行の「ふくサポ通信」が中心でした。そのため、どうしても最新情報が滞り勝ちでした。今後はホームページに、いわば賞味期限のある催事情報や最新の助成金情報などの支援情報を中心に掲載していきます。ぜひ、ご活用ください。

URL <http://www.f-ssc.jp>

◆ふくサポの講座スケジュール◆

- ・市民活動ステップアップ講座
10月27日、12月2日、3日、16日
- ・NPOマネジメント講座
11月11日、12月9日、1月20日、27日
- ・市民協働のまちづくり楽校
10月10日～全5回

※詳細は <http://www.f-ssc.jp> または下記までお問い合わせください。
TEL 024-526-4533 / E-mail: f-ssc@bz01.plala.or.jp



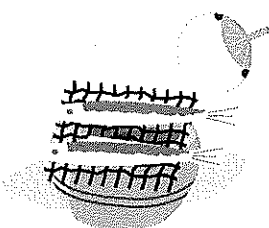
ふくしまNPOネットワークセンターからのお知らせ

- ・公益信託うつくしま基金第6回助成金募集直前対策ブラッシュアップセミナー
10月27日(土) 13時～17時
13時～14時 講義「基金の概要と書き方のポイント」
14時30分～ 個別相談(予約制、1団体30分程度)
講師 当センター監事 松田 英明
場所 福島学院大学駅前キャンパスグループワーク実習室
参加費 2000円(1団体 3～4名程度)
- ・東北ろうきんNPOパートナーシップ制度ボランティアセミナー
11月4日(日) 13時～15時30分
場所 福島テルサ 4階「つきのわ」



詳しくは「ふくしまNPOネットワークセンター」までお問い合わせください。
TEL 024-528-1211 E-mail center@f-npo.jp

「のっぽの手」では誌面充実の為、理事、職員はもとより、会員様、各団体様よりの投稿をお待ち申し上げております。当センターへのご意見、日頃の活動に関する事、はたまた「よもやま話」などございましたらぜひ下記宛にお寄せいただければと思います。よろしくお願いいたします。



ふくしまNPOネットワークセンター事務局 <http://www.f-npo.jp/>
〒960-8034 福島市置賜町1-29 佐平ビルB1
TEL 024-528-1211 FAX 024-528-1218
E-mail center@f-npo.jp
福島市市民活動サポートセンター <http://www.f-ssc.jp>
ふくしま情報ステーション <http://www.machi-fukushima.jp/>